

平成 29 年 3 月 28 日

中野十中平成 28 年度「第 61 回卒業証書授与式」に出席して

同窓会 渉外担当副会長

- 平成 29 年 3 月 17 日 [金] 10 時～12 時 15 分平成 28 年度第 61 回卒業証書授与式が開催、8 期生 K と 1 期生 O の 2 名で出席しました。前日の 3 月 16 日には、「同窓会入会式」が行われ、9 期生 Y と 8 期生 K の 2 名が出席し、83 名が同窓会入会。
- 今回の卒業証書授与式の卒業生は 83 名で、平成 14 年度以降最も多い人数です。体育館が満席となりました。特に、卒業生 83 名が舞台上で卒業証書を携えての別れの言葉・卒業生の合唱の雄姿は、まさに感動そのものでした。
- 「卒業証書授与」は、弓田校長から 83 名全員に一人、一人丁寧に「卒業証書」が手渡されました。卒業の最終番号は、11,575 号でした。
- なお、十中の卒業証書授与式の内容は、3 月 17 日夜 JCOM で 3～4 分放映されたとのことでした。弓田校長の式辞にある「4 つの宿題」も放映されました。

1. 弓田校長式辞

3 年生の皆さん、おめでとうございます。18 名の入学式の時もありました。皆さんは、平成 26 年 4 月 83 名の入学式で、3 クラス編成となり、平成 11 年度以降 15 年振りでした。まさに、十中の繁栄の象徴です。最近、私が聞いたチョーク会社の社長さんのお話をします。社長さんが、法事で寺の住職と隣同士になり、障害のある社員のことについて、「うちの会社では字を読めない障害者が働いています。彼らは、会社で働くより、施設で面倒みてもらう方が、ずっと楽で幸せなのに、なぜか働きたがるのです。黙々とチョーク作りに没頭する彼等は、はたして幸せなのでしょうか」

住職は、「社長さん、人間の幸せは何だと思えますか？」社長さんは、答えられません。

住職は「人間の幸せは、物やお金ではありません。人間の幸せは 4 つあります。

一つは、人に愛されること。二つ目は、人に褒められること。三つ目は、人の役にたつことそして最後は、人に必要とされることです。

障害者は、施設では、あなたがいないと困るとは言われませんが、しかし、あなたの会社では必要とされています。障害者にとっては、施設で保護されるより、必要とされている会社で働いている方がはるかに幸せなのです。彼らが会社に来てひたすらチョーク作りに没頭するのは、幸せである証です。」

この 4 つの宿題は、人間として本当に必要なことです。素晴らしい生徒に恵まれました。

3 年間ありがとうございました。11,575 名の歴史も残り 1 年で閉じられようとしています。

2. 中野区長・中野区議会議長祝辞・PTA 会長祝辞 一省略

3. 送る言葉・在校生合唱 一「心の中にきらめいて」

4. 別れの言葉・卒業生合唱 一 卒業生 83 名全員が舞台にあがりコメントと合唱は壮観でした。

5. 別れの言葉・卒業生合唱 一「大地讃頌」「友～旅立の時～」「旅立ちの日に」

卒業生にとっては最後の校歌斉唱・感動的でした。83 名の卒業生本当におめでとうございます。以上